



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年10月30日

上場取引所 東

上場会社名 EIZO株式会社

コード番号 6737 URL <http://www.eizo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 実盛 祥隆

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 兼 IR室長 (氏名) 有生 學 TEL 076-275-4121

四半期報告書提出予定日 平成27年11月12日 配当支払開始予定日 平成27年11月30日

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	34,754	14.2	1,738	65.5	2,409	112.8	1,742	113.6
27年3月期第2四半期	30,437	△11.9	1,050	△66.8	1,132	△69.6	815	△67.5

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 424百万円 (△89.2%) 27年3月期第2四半期 3,930百万円 (9.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	81.74	-
27年3月期第2四半期	38.26	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	106,477	79,078	74.3	3,709.00
27年3月期	106,519	79,293	74.4	3,719.08

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 79,078百万円 27年3月期 79,293百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	-	30.00	-	30.00	60.00
28年3月期	-	35.00	-	-	-
28年3月期（予想）	-	-	-	35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	74,500	2.6	4,900	9.6	5,200	10.5	3,600	8.4	168.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期2Q	22,731,160株	27年3月期	22,731,160株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	1,410,357株	27年3月期	1,410,318株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期2Q	21,320,831株	27年3月期2Q	21,320,887株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

四半期決算補足説明資料は平成27年11月17日にTDnetで開示するとともに、当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
4. 補足情報	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、欧州では新興国の景気減速の影響を受けたものの、個人消費が底堅く推移したことを背景に景気は緩やかな回復が持続しました。米国では個人消費や民間設備投資が堅調に推移し、拡大基調が続きました。日本経済においては、個人消費が底堅く動き企業収益にも改善が見られたものの、中国を始めとするアジア新興国の景気下振れ懸念等により先行きに不透明感が見られました。

このような状況の下、当社グループは、市場ニーズに対応した製品開発を進めるとともに、ユーザーにとって最適な映像環境ソリューションを追求し、提案してまいりました。

主な取組みとして、特定市場向けにはグラフィックス市場向けの4K対応の24インチモニターや視認性向上機能を強化したセキュリティ用モニターを、ビジネス用途向け（Business&Plus：B&P）には世界初（※）となる27インチフルフラット・フレームレスデザインのモニターを開発し、当社の強みである高品位・高品質な製品により圧倒的な差別化を図ってまいりました。なお、平成27年10月において、当社はイメーション株式会社よりメディカル市場向けシステムインテグレーション事業を買収いたしました。従来のモニター事業に加え、新たにシステムインテグレーション事業に取り組むことで、当該分野における強いシナジーを生み出し、当社グループの成長と発展につなげてまいります。事業開始は平成27年11月を予定しております。

※ 平成27年9月1日現在当社調べ。

当第2四半期連結累計期間における全体の売上高は、34,754百万円（前年同期比14.2%増）となりました。品目別の売上は次のとおりであります。

[映像表示システム]

売上高は23,940百万円（前年同期比11.3%増）となりました。

海外においては、B&P市場及びグラフィックス市場向けの販売が堅調に推移しました。国内においても、B&P市場が好調であったことに加え、船舶用や監視用モニター等の産業市場向けの販売が順調に推移したことから、売上高が増加しました。

[アミューズメント用モニター]

売上高は7,511百万円（前年同期比32.1%増）となりました。

前年同期に比べ新機種の販売が好調であったことから、売上高が増加しました。

[その他]

売上高は3,302百万円（前年同期比1.7%増）となりました。

これは主に、アミューズメント用ソフトウェア受託開発の売上高が増加したことによります。

利益面につきましては、映像表示システム及びアミューズメント用モニターの増収効果により、営業利益は1,738百万円（前年同期比65.5%増）となりました。また、前期末に比べ円安ユーロ高が進み為替差益を計上したこと及び有価証券売却益を計上したこと等により、経常利益は2,409百万円（同112.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,742百万円（同113.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産及び負債の状況は、前連結会計年度末と比較し、資産の部は42百万円減少し、106,477百万円となりました。これは主に、たな卸資産が増加した一方で、受取手形及び売掛金の減少や保有株式の株価の下落により投資有価証券の評価額が減少したことによります。負債の部は、買掛金が増加したこと等により172百万円増加し、27,398百万円となりました。純資産の部は、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したものの、配当金の支払いやその他有価証券評価差額金の減少等により215百万円減少し、79,078百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成27年5月1日の「平成27年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計方針の変更
(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,522	6,770
受取手形及び売掛金	17,502	11,975
有価証券	12,297	16,795
商品及び製品	8,572	10,634
仕掛品	5,187	4,684
原材料及び貯蔵品	11,246	12,807
その他	2,217	2,462
貸倒引当金	△118	△111
流動資産合計	63,428	66,018
固定資産		
有形固定資産	7,983	8,110
無形固定資産	2,050	1,843
投資その他の資産		
投資有価証券	32,281	29,722
その他	775	783
投資その他の資産合計	33,057	30,506
固定資産合計	43,091	40,459
資産合計	106,519	106,477
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,854	7,481
短期借入金	1,954	2,023
未払法人税等	620	601
賞与引当金	1,216	1,050
ソフトウェア受注損失引当金	36	12
製品保証引当金	1,872	1,922
その他	4,300	3,624
流動負債合計	15,855	16,716
固定負債		
役員退職慰労引当金	101	101
リサイクル費用引当金	1,066	1,022
退職給付に係る負債	2,984	3,043
その他	7,217	6,514
固定負債合計	11,370	10,682
負債合計	27,225	27,398

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,425	4,425
資本剰余金	4,313	4,313
利益剰余金	56,075	57,178
自己株式	△2,661	△2,661
株主資本合計	62,153	63,256
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17,357	15,858
為替換算調整勘定	248	384
退職給付に係る調整累計額	△465	△420
その他の包括利益累計額合計	17,140	15,822
純資産合計	79,293	79,078
負債純資産合計	106,519	106,477

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
売上高	30,437	34,754
売上原価	21,027	24,675
売上総利益	9,409	10,078
販売費及び一般管理費	8,359	8,340
営業利益	1,050	1,738
営業外収益		
受取利息	10	12
受取配当金	156	249
有価証券売却益	-	394
為替差益	-	33
その他	14	26
営業外収益合計	181	717
営業外費用		
支払利息	-	0
売上割引	35	40
為替差損	62	-
その他	1	4
営業外費用合計	99	46
経常利益	1,132	2,409
税金等調整前四半期純利益	1,132	2,409
法人税、住民税及び事業税	178	658
法人税等調整額	138	8
法人税等合計	316	667
四半期純利益	815	1,742
親会社株主に帰属する四半期純利益	815	1,742

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月 1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月 1日 至 平成27年9月30日)
四半期純利益	815	1,742
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,021	△1,499
為替換算調整勘定	54	135
退職給付に係る調整額	38	45
その他の包括利益合計	3,115	△1,318
四半期包括利益	3,930	424
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,930	424
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月 1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月 1日 至 平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,132	2,409
減価償却費	840	868
のれん償却額	107	104
引当金の増減額 (△は減少)	△190	△217
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	116	94
支払利息	-	0
有価証券売却損益 (△は益)	-	△394
売上債権の増減額 (△は増加)	3,581	5,644
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△4,782	△2,923
仕入債務の増減額 (△は減少)	787	1,534
その他	△1,032	△1,199
小計	562	5,922
利息及び配当金の受取額	167	262
利息の支払額	-	△0
法人税等の支払額	△1,838	△619
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,108	5,564
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△791	△970
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△35	△658
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	3	1,406
その他	209	△2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△613	△225
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△640	△639
財務活動によるキャッシュ・フロー	△640	△639
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	48
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,362	4,747
現金及び現金同等物の期首残高	19,080	18,022
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,717	22,770

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、映像機器及びその関連製品の開発・生産・販売が主であり、実質的に単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を行っておりません。

4. 補足情報

販売の状況

品目	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月 1日 至 平成26年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月 1日 至 平成27年9月30日)		増減
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)
映像表示システム	21,506	70.7	23,940	68.9	2,434
アミューズメント用モニター	5,684	18.7	7,511	21.6	1,826
その他	3,246	10.6	3,302	9.5	55
合計	30,437	100.0	34,754	100.0	4,316

(注1) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(注2) 第1四半期連結累計期間より、従来は「コンピュータ用モニター」としておりました名称を「映像表示システム」に変更するとともに、「その他」に区分しておりましたグラフィックスボード、品質管理ソフトウェアや各種周辺機器等の売上高を「その他」から「映像表示システム」に含めて集計しております。前年同期比較にあたっては、前年同期を変更後の区分に組み替えて比較しております。